

議員研修を実施しました

加西市議会基本条例では、さらなる議員の資質向上のため、議員研修の充実強化を図るよう定めています。令和5年5月21日執行の加西市議会議員選挙によって、15名の議員が決まりました。以降、新人議員研修や議会基本条例の勉強会、議員活動における注意点などのオンライン研修など、さまざまな研修を実施しています。今回は7月に実施した2つの研修をご紹介します。

今後とも様々な研修を通じて議員のスキルアップに努めていきます。

7月25日 ペーパーレス会議システム研修

令和4年12月定例会よりタブレット端末を導入し、会議等において使用しています。令和5年度はさらにデジタル化を推進するため、ペーパーレス会議や採決システムを導入し、使用方法等の研修を実施しました。



オンラインによる研修風景



採決システムの模擬画面

7月31日 普通救命講習

普通救命講習

全国的に、近年は地震災害に加えて豪雨災害等も多発しています。

加西市は比較的災害の発生が少ないと言われますが、万が一の場合に備え、普通救命講習を受講し、修了証の交付を受けました。



心肺蘇生法の実践風景

市政を問う!

一般質問

7月10日～11日の本会議では、13名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



高橋 佐代子 議員
(改革未来・市民の風)



新市長による機構改革について

重大なミスが起きるのではないかと危惧しています。

問 機構改革に当たり、私の提案と要望を申し述べたい。高齢化が進むなか、特に健康福祉部について、「長寿介護課」を「高齢者福祉課」に課名変更して2階から1階へ、また、「健康課」は場所が離れており好ましくない。そして、家族が御逝去され心労があるなか各種手続に来られた方のために「おくやみ窓口」を市民課に新設し、ワンストップで手続ができるようにする等、高齢者に優しい市役所実現をお願いしたい。

答 (市長) 提案や要望は、可能な限り、職員で検討して、取り入れられるものは取り入れたと考えます。

問 市役所へ電話すると「サービス向上のため音声を録音

させてもらう」というメッセージが流れるが、「不愉快だ」「クレーム扱いされる」と苦情を聞いた。市民にとって開かれた市役所、身近な市役所、親しみのある市役所であるべきだが、逆行しているのではないか。このメッセージを流す前に、市役所全職員を対象に接遇研修を充実していただきたい。

答 同様のメッセージは、県内29市のうち加西市を含め3市で流されています。今後、効果や課題を検討していきます。また、職員の接遇指導については、計画的に研修に参加するほか、職場での指導にも努めています。

※ 電話録音の告知メッセージは8月15日より廃止されました。

■その他の質問項目

- ・5月執行の市長と市議選について
- ・防災放送未整備について

問 新市長による機構改革は当然のことで、市長は市役所時代、総務部長を務められたこともあり、市民も期待している。市役所には考えられないような課名もあるため見直し、無駄と思われる事務事業の見直しや職員の斬新な発想による事業の展開と意識改革を期待したい。

答 (市長) 入札ミス、選挙の開票ミス、前市長退任にもかかわらず積極予算を組むなど、仕事の手順が分かっていない状況が見受けられます。管理部門をしっかりさせなければ、今後ますます